

令和6年度
上里町高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画
効果検証シート【抜粋版】

効果検証シート1

基本目標	2. 社会参加と生きがいの推進
基本施策	生きがいづくり活動の推進

高齢者の社会参加と生きがい対策			
施策	3. 老人クラブ活動		
取組			
施策の方向	自主的に集まり活動している老人クラブの運営の一層の充実を図るため、他団体の活動や取り組みの情報を収集し、成功事例の紹介・企画の提案を行います。 地域に住む高齢者同士の交流・支え合い活動の活性化に向け、老人クラブの新会員の加入促進を図るために上里町のホームページ及び広報を活用して、周知・啓発をしていきます。		
成果	年2回のグラウンド・ゴルフ大会や新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年以降開催できなかった交通安全カラオケ大会を開催し、地域に住む高齢者同士の交流をはかることができた。老人クラブの新会員の加入促進のため町のホームページや広報に行事の記事を載せて周知することができた。		
課題	他団体の活動・取組の情報の収集や企画の提案は行えなかったため、引き続き情報収集を継続する。会員数の減少への対策として、広報活動等をより進めていくことが必要である。		
評価	B.概ね計画通り	今後の方向	継続・維持
		担当課	高齢者いきいき課（高齢介護係）

KPI	老人クラブのクラブ数（クラブ）								
	R3			R4			R5		
項目	見込値	実績値	達成率	見込値	実績値	達成率	見込値	推計値	達成率
	21	21	100.0%	21	21	100.0%	21	20	95.2%
KPI	老人クラブの活動人数（人）								
	R3			R4			R5		
項目	見込値	実績値	達成率	見込値	実績値	達成率	見込値	推計値	達成率
	1,520	1,467	96.5%	1,525	1,423	93.3%	1,530	1,308	85.5%

効果検証シート2

基本目標	2. 社会参加と生きがいの推進
基本施策	生きがいづくり活動の推進

地域福祉活動と福祉ボランティア			
施策	3. 介護支援ボランティアの活用		
取組			
施策の方向	<p>社協では、日常生活のちょっとした困りごとなどを、元気な高齢者等のボランティアの方に手助けしていただく「かみさと高齢者等支え合いサービス事業（高齢者等生活応援隊）」を実施しており、支援の必要な高齢者等を支えています。</p> <p>今後の高齢者人口の増加に伴い、ますます外出支援や買い物、調理といった家事支援等の生活支援サービスのニーズが増えることから、多様な担い手による多様なサービスの創出が求められます。</p>		
成果	<p>昨年に引き続き、草むしり等の庭の手入れ、買い物、部屋の掃除等、ちょっとした困りごとの依頼には、お断りすることなく対応出来た。</p> <p>専門的な技術が必要な作業や、高所での作業など対応が難しい場合は、専門業者を紹介するなど、きめ細やかな対応を行った。</p>		
課題	<p>協力会員が高齢化しており、新たな担い手の確保が喫緊の課題。</p> <p>広報、HP、社協だよりへの掲載、チラシの配布等も行い、協力会員への登録を呼びかけているが、確保が難しい状況が続いている。</p>		
評価	B.概ね計画通り	今後の方向	継続・維持
		担当課	町民福祉課 (社会福祉協議会)

KPI	高齢者等生活応援隊の延べ利用人数（人）								
	R3			R4			R5		
項目	見込値	実績値	達成率	見込値	実績値	達成率	見込値	推計値	達成率
	500	454	90.8%	550	454	82.5%	600	619	103.2%

効果検証シート3

基本目標	3.地域包括ケアシステムの深化・推進
基本施策	第3章 地域支援事業

第3節 介護予防・日常生活支援総合事業			
施策	1. 介護予防・生活支援サービス事業		
取組	(1) 訪問型サービス		
施策の方向	令和3年度からは総合事業の弾力化に伴い、要介護者による総合事業の利用が可能となります。従来の要支援者及び事業対象者に対する支援のみならず、要介護者に対しても自立支援につなげることを目的として、利用者本人の主体性を引き出し、生活機能の改善をより効果的にできるよう、利用者の状況に応じたサービスを提供していきます。		
成果	上里町介護予防訪問介護の利用者は100%を上回っており、全体としては必要な人にサービスを提供できている。 適切なケアマネジメントによるサービスの利用により、利用者は自立した在宅生活を送ることができた。		
課題	より自立支援を目的としたサービス提供を実施していけるよう管内事業者の支援を行う必要がある。		
評価	B.概ね計画通り	今後の方向	継続・維持
		担当課	高齢者いきいき課（地域包括支援係）

KPI	上里町介護予防訪問介護（従来の訪問介護相当）の利用人数（人）と事業者数								
	R3			R4			R5		
項目	見込値	実績値	達成率	見込値	実績値	達成率	見込値	推計値	達成率
	341人	323人	94.7%	348人	388人	111.4%	349人	549人	157.3%
	14	11	78.6%	14	12	85.7%	14	12	85.7%
KPI	家事支援サービス（緩和した基準のサービス）の利用人数（人）と事業者数								
	R3			R4			R5		
項目	見込値	実績値	達成率	見込値	実績値	達成率	見込値	推計値	達成率
	133人	123人	92.5%	137人	94人	68.6%	140人	64人	45.7%
	1	1	100.0%	1	1	100.0%	1	1	100%
KPI	短期集中訪問サービス（短期集中予防サービス）の利用人数（人）と事業者数								
	R3			R4			R5		
項目	見込値	実績値	達成率	見込値	実績値	達成率	見込値	推計値	達成率
	152人	197人	129.6%	155人	129人	83.2%	156人	132人	84.6%
	1	1	100.0%	1	1	100.0%	1	1	100%

効果検証シート4

基本目標	3.地域包括ケアシステムの深化・推進
基本施策	第3章 地域支援事業

第3節 介護予防・日常生活支援総合事業			
施策	1. 介護予防・生活支援サービス事業		
取組	(2) 通所型サービス		
施策の方向	<p>令和3年度からは総合事業の弾力化に伴い要介護者による総合事業の利用が可能となります。要支援者及び事業対象者に対してのみならず、要介護者に対しても本人の状態に合わせたサービスを提供するとともに、住民主体の体操、地域のサロン等の多様な資源につなげることで、地域のつながりを維持しつつ、より効果的・継続的な支援となるよう、支援体制の強化・充実を図ります。</p> <p>住民主体の体操やサロン等地域の通いの場が、新型コロナウイルス感染症により一時中断されたことにより、心身機能の低下の恐れがある場合には、通所型サービスの利用を支援します。</p>		
成果	<p>上里町介護予防通所介護と短期集中通所サービスは見込値に対して100%を超えており、全体としては必要な人にサービスを提供できている。</p> <p>適切なケアマネジメントによるサービスの利用により、利用者は自立した在宅生活を送ることができた。</p>		
課題	より自立支援を目的としたサービス提供を実施していけるよう管内事業者の支援を行う必要がある。		
評価	B.概ね計画通り	今後の方向	継続・維持
		担当課	高齢者いきいき課（地域包括支援係）

KPI	上里町介護予防通所介護（従来の通所介護相当）の利用人数（人）と事業者数								
	R3			R4			R5		
項目	見込値	実績値	達成率	見込値	実績値	達成率	見込値	推計値	達成率
	1293人	1411人	109.1%	1319人	1577人	119.5%	1323人	1777人	134.3%
	35	26	74.3%	36	26	72.2%	36	26	72.2%
KPI	元気通所サービス（緩和した基準のサービス）の利用人数（人）と事業者数								
	R3			R4			R5		
項目	見込値	実績値	達成率	見込値	実績値	達成率	見込値	推計値	達成率
	119人	85人	71.4%	121人	56人	46.2%	122人	32人	26.2%
	7	4	57.1%	7	4	57.1%	7	1	14.3%
KPI	短期集中通所サービス（短期集中予防サービス）の利用人数（人）と事業者数								
	R3			R4			R5		
項目	見込値	実績値	達成率	見込値	実績値	達成率	見込値	推計値	達成率
	60人	94人	156.7%	62人	78人	125.8%	62人	55人	88.7%
	1	1	100.0%	1	1	100.0%	1	1	100%

効果検証シート5

基本目標	3.地域包括ケアシステムの深化・推進
基本施策	第3章 地域支援事業

第3節 介護予防・日常生活支援総合事業			
施策	1. 介護予防・生活支援サービス事業		
取組	(4) 介護予防ケアマネジメント		
施策の方向	<p>高齢者自身が何らかの役割を果たせる活動を継続することにより、結果として介護予防につながるという視点からも、高齢者の生活の困りごとに対して単にそれを補うサービスを提供するだけではなく、高齢者の自立支援に資するようそれまでの生活状況を把握して地域の中で生きがいや役割を持って生活できるように支援していきます。</p> <p>今後も地域ケア会議やケアマネジャー連絡会を活用し、その人らしい自立支援の取り組みが実現できるよう、また、介護支援専門員が介護予防ケアマネジメントにおいて実践できるよう学ぶ機会を設けます。</p>		
成果	<p>ケアマネジメント利用人数の大半を占めるケアマネジメントAの利用人数については、見込み値に対して100%を上回っており、サービスを必要とする被保険者に適切にサービスを提供できている。</p> <p>地域包括支援センターだけではなく、居宅介護支援事業所へ介護予防ケアマネジメントを委託することで、必要な方にサービスを提供することができた。</p> <p>また、委託ケアプランの確認及び助言、地域ケア会議の開催を通じて、高齢者の自立支援・重度化防止を図ることができた。</p>		
課題	ケアプラン確認や地域ケア会議などを通して、サービス提供だけではなく利用者が地域での生きがいをもって生活できるための介護予防マネジメントを行っていく必要がある。		
評価	B.概ね計画通り	今後の方向	継続・維持
		担当課	高齢者いきいき課（地域包括支援係）

KPI	ケアマネジメントAの利用人数（人）								
	R3			R4			R5		
項目	見込値	実績値	達成率	見込値	実績値	達成率	見込値	推計値	達成率
	1,065	1,080	101.4%	1,090	1,090	100.0%	1,130	1,238	109.6%
KPI	ケアマネジメントBの利用人数（人）								
	R3			R4			R5		
項目	見込値	実績値	達成率	見込値	実績値	達成率	見込値	推計値	達成率
	155	105	67.7%	165	46	27.9%	170	32	18.8%

効果検証シート6

基本目標	3.地域包括ケアシステムの深化・推進
基本施策	第3章 地域支援事業

第4節 包括的支援事業			
施策	5. 認知症対策の推進		
取組	(3) 認知症カフェの活用		
施策の方向	<p>認知症を理解し、認知症の方と交流する場として活用するとともに、認知症の方とそ の家族を地域で見守る体制づくりを推進していきます。また、新しい生活様式を踏 まえながらも、地域住民の参加を増やし、より多くの方に認知症についての理解を 深めていただけるよう、カフェ会場と協働した企画等に加えて、認知症の人が自身 の希望や必要としていること等を本人同士で語り合う「本人ミーティング」の場と しても整備・活用し、当事者からの視点を認知症施策の企画・立案や評価に反映す るよう努めます。</p>		
成果	<p>社会福祉法人に委託実施し、月1回町内ショッピングセンターのフードコートを借 りて実施。一般住民も参加しやすいよう企業と合同開催するなど取り組み、参加者 を増やすことができた。認知症への理解を深めていただける機会をもつことができ た。</p>		
課題	<p>引き続き委託先と協議し、周知方法、カフェのプログラムの再検討を行い、一般企 業等と合同開催など内容の充実を図っていく必要がある。 本人ミーティングのやり方を検討していく必要がある。</p>		
評価	B.概ね計画通り	今後の方向	継続・維持
		担当課	高齢者いきいき課（地域包括支援 係）

KPI	認知症カフェの開催回数（回）								
	R3			R4			R5		
項目	見込値	実績値	達成率	見込値	実績値	達成率	見込値	推計値	達成率
	12	7	58.0%	12	11	91.6%	12	12	100.0%

効果検証シート7

基本目標	4.高齢者とその家族を支える介護体制づくり
基本施策	第5章 介護保険サービスの現状と今後の見込み

第2節 介護保険サービスの現状及び今後の見込み			
施策	2. 要介護認定者に対する介護の充実		
取組	(1) 居宅サービス（地域密着型サービスを除く）		
施策の方向	<p>サービス利用のニーズを把握し、多種多様なサービスを組み合わせながら、居宅での生活が続けられるよう、サービス提供事業所・居宅介護支援事業所と連携を図ります。</p> <p>また、実地指導や居宅サービス計画（ケアプラン）の確認に努め、介護支援専門員へ適正なサービス提供についての提案をしていきます。</p>		
成果	<p>令和5年6月に集団指導、令和5年7月と令和6年2月に運営指導、令和5年12月と令和6年2月にケアプランの点検確認を実施し、ケアマネジャーに適正なサービス提供について提案した。訪問入浴介護、短期入所療養介護、特定福祉用具販売、住宅改修以外は見込値の70%から100%超となっており、概ね見込み通り推移している。</p>		
課題	<p>利用者の介護状態に応じた介護サービスが提供されているか確認する必要がある。住み慣れた自宅で継続して暮らしていけるよう、適切なケアプランの作成が求められる。そのためにもケアマネジャーとの継続的な連携をとっていく必要がある。</p>		
評価	B.概ね計画通り	今後の方向	継続・維持
		担当課	高齢者いきいき課（高齢介護係）

進捗状況は「【要介護認定者に対する介護】 上里町 高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画 介護保険サービス進捗確認シート」P1 居宅サービス（地域密着型サービスを除く）を参照

効果検証シート8

基本目標	4.高齢者とその家族を支える介護体制づくり
基本施策	第5章 介護保険サービスの現状と今後の見込み

第2節 介護保険サービスの現状及び今後の見込み			
施策	2. 要介護認定者に対する介護の充実		
取組	(3) 地域密着型サービス		
施策の方向	<p>住み慣れた地域、自宅で自分らしい生活が継続できるよう、そのニーズに応えるべく、小規模多機能型居宅介護事業所の整備を検討します。今後はより地域との密接な関わりを持ったケアをしていくために、効果的に介護保険運営協議会を開催します。また、適正な地域密着型サービスの提供につなげるため、事業所に対し実地指導を行います。</p>		
成果	<p>令和5年7月に運営指導を実施し、適正なサービス提供について提案した。 令和5年度も小規模多機能型居宅介護事業所の公募を行ったが、前年度に続き、応募がなかった。 各サービスについて、通所介護は、令和3年4月に1事業所が廃止となり町内事業所が2事業所から1事業所に減ったため、見込み通りの推移となっていないが、通所介護以外は見込値の概ね70%超となっており、概ね計画通りといえる。</p>		
課題	<p>小規模多機能型居宅介護については、ニーズがあり、今後も公募を行う必要がある。 認知症対応型通所介護は利用者がいない状態で、ニーズはあまりないと思われる。現状利用者はいないが、町民のニーズを取りこぼすことがないよう情報収集に努め、ニーズに対応できるようにケアマネジャー・施設と連携を図っていく。</p>		
評価	B.概ね計画通り	今後の方向	継続・維持
		担当課	高齢者いきいき課（高齢介護係）

進捗状況は「【要介護認定者に対する介護】 上里町 高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画 介護保険サービス進捗確認シート」P4 地域密着型サービスを参照

効果検証シート9

基本目標	4.高齢者とその家族を支える介護体制づくり
基本施策	第5章 介護保険サービスの現状と今後の見込み

第2節 介護保険サービスの現状及び今後の見込み			
施策	2. 要支援認定者に対する介護予防の推進		
取組	(1) 介護予防居宅サービス（地域密着型サービスを除く）		
施策の方向	要支援者が自立に向けて意欲を持ってもらうために、サービス提供事業所・地域包括支援センターと連携を図り、改善に向けた適切なサービス提供がなされるよう、指導していきます。要支援者の居宅におけるサービス利用ニーズを把握し、必要に応じてサービス提供量の確保を行います。		
成果	ケアプランの点検確認を実施し、居宅介護支援事業所に適正なサービス提供について提案した。 サービス利用者については見込値よりは低くなっているが、今後要支援者の増加が予想されており、サービス利用の増加が見込まれる。今後も、サービスを必要としている被保険者が使える体制の整備維持を行っていく。		
課題	利用者の状態に応じた適切な介護サービスが提供できるよう、ケアマネジャーと継続して連携を図っていく必要がある。対象となる被保険者は今後、増加が見込まれるため、必要とされる方に必要なサービスが提供されるよう提供量を確保する必要がある。		
評価	B.概ね計画通り	今後の方向	継続・維持
		担当課	高齢者いきいき課（高齢介護係）

進捗状況は「資料4 **【要支援認定者に対する介護】** 上里町 高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画 介護保険サービス進捗確認シート」P1 介護予防居宅サービス（地域密着型サービスを除く）を参照

効果検証シート10

基本目標	4.高齢者とその家族を支える介護体制づくり
基本施策	第5章 介護保険サービスの現状と今後の見込み

第2節 介護保険サービスの現状及び今後の見込み			
施策	2. 要支援認定者に対する介護予防の推進		
取組	(2) 介護予防居住系サービス（地域密着型サービスを除く）		
施策の方向	日常生活の自立に向けた支援が行われるよう、指導していきます。		
成果	推移の見込値は59.0%であり、前年度と比較し、減少している。		
課題	利用者の状態に応じた適切な介護サービスが提供できるよう、ケアマネージャーと継続して連携を図っていく必要がある。		
評価	C.やや遅れて達成	今後の方向	継続・維持
		担当課	高齢者いきいき課（高齢介護係）

進捗状況は「資料4 **【要支援認定者に対する介護】** 上里町 高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画 介護保険サービス進捗確認シート」P3 介護予防居住系サービス（地域密着型サービスを除く）を参照

効果検証シート11

基本目標	4.高齢者とその家族を支える介護体制づくり
基本施策	第5章 介護保険サービスの現状と今後の見込み

第2節 介護保険サービスの現状及び今後の見込み			
施策	2. 要支援認定者に対する介護予防の推進		
取組	(3) 介護予防地域密着型サービス		
施策の方向	<p>住み慣れた地域、自宅で自分らしい生活が継続できるよう、そのニーズに応えるべく、小規模多機能型居宅介護事業所の整備を検討しています。今後はより地域との密接な関わりを持ったケアをしていくために、効果的な運営推進会議の開催を提案します。また、適正な地域密着型サービスの提供につなげるため、事業所に対し実地指導を行います。</p>		
成果	<p>令和5年度も小規模多機能型居宅介護事業所と併せて介護予防小規模多機能型居宅介護事業所も公募を行ったが、前年度に続き、応募がなかった。 令和5年7月に運営指導を実施し、適正なサービス提供について提案した。 認知症対応型通所介護の利用はないが、小規模多機能型居宅介護75.0%、認知症対応型共同生活介護41.7%となっている。</p>		
課題	<p>小規模多機能型居宅介護については、ニーズがあるので、ニーズを満たすため今後も公募を行っていく。 認知症対応型通所介護は利用者がいない状態で、ニーズはあまりないと思われる。現状利用者はいないが、町民のニーズを取りこぼすことがないよう情報収集に努め、ニーズに対応できるようにケアマネジャー・施設と連携を図っていく。</p>		
評価	B.概ね計画通り	今後の方向	継続・維持
		担当課	高齢者いきいき課（高齢介護係）

進捗状況は「資料4 【要支援認定者に対する介護】 上里町 高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画 介護保険サービス進捗確認シート」P3 介護予防地域密着型サービスを参照